

季刊・オーディオアクセサリ&ファイルウェブ読者限定
TAOCアクセサリ スーパーモニタープレゼント

読者の声

全14名のモニター試用レポート

134号でアイシン高丘株式会社から、本誌および、ファイルウェブの読者限定で、TAOCブランドのアクセサリモニタープレゼントが実施されました。このレポートは、モニターに当選された方のレポートの、精粹を抜粋したものです。皆様からは熱心かつ貴重なご意見を、モニターとしていただいています。誠に感謝する次第です。またこの掲載をもちまして、モニタープレゼントの発表といたします。

スピーカーシステム **WST-C60HB**
 愛媛県 磯崎様

スピーカーを気持ちよく響かせる
 6畳ほどの和室で使用しています。スピーカーはフォステクスのGX100。台の幅がびつたりでデザイン的にもきれいです。奥行きは下の、合板の台が5cmほど長いのでスピーカーの前面にびたりと合わせてセッティングしています。スピーカーと台の間にはアクリルの薄板(2cm角)を四隅に挟んでいます。音質ですが、いままででは御影石の上に置いておりましたが、スタンドに置く音の存在感が強く、定位がはっきりしてきました。同時に奥行き、ホール感も向上。以前よりスピーカーがキャビネット全体で響いてる感じがしています。音の広がりが大きくなり、クリアな空間が広がります。GX100には最適なスタンドだという印象です。

インシュレーター **TITE-25GP**
 大阪府 上原様

予想以上の定位改善効果

いまだインシュレーターの類はまったく使った経験がなかったので、一度自分の装置で使ってみたくモニターに応募しました。最も効果がありそうなCDPの下に敷いて音を出してみました。まず第一印象は、音の透明感が増して繊細になり、特に弱音のところで内容がよく分かるようになりました。トライアウトの響きがよく聴こえるようになり、定位が良くなりました。この効果は予想を超えていたので驚きました。

格段に臨場感が増した

スピーカースタンドの足についているスパイクの受けとしてPTSGを使うています。床は畳です。以前は、4枚2



スピーカーベース「SPB-300DL」の場合。関谷様



オーディオボード「SCB-RS65G」の場合。竹澤様



インシュレーター「TITE-25GS」の場合。中田様



インシュレーター「TITE-35S」の場合。橋本様



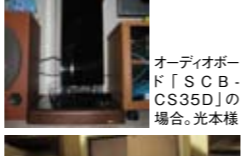
オーディオラック「LSR-4S-MB」の場合。藤田様



スピーカーベース「SPB-300DH」の場合。平山様



インシュレーター「TITE-25GP」の場合。丸田様



オーディオボード「SCB-CS35D」の場合。光本様



インシュレーター「TITE-46GP」の場合。三好様

00円の薄い金具を使ってみました。スピーカーを手で揺らしてみても、当然ですが以前よりはるかに安定しています。音を出してスタンドの底面にふれても、ほとんど振動を感じなくなりました。

マリンベルの「ハーフザパーフエクトワールド」では、背景の静けさ、細やかさが増し、雰囲気がとてもよくなりました。歌声の表情、余韻が美しく、緻密です。クリフォードジョーダンの「インザワールド」は、サクスが太く伸びるようになり、全体としては安定感が増したように感じました。ニルヴァーナの「アンプラウド」は、格段に臨場感が増すなど、いままでと全然違う再現になりました。

インシュレーター **TITE-25MF**
 埼玉県 下川様

繊細さに厚みがプラスされた

本機を手にした時、木部モールドメイブルの「漆塗り」とも思える光沢が相の美しさを、ハイカーボン铸铁台座の「ガメタル色」が重厚感を出し、これらが相まって気品と高級感が素晴らしい、重量も250gで手応えが十分ありました。早速CDプレーヤーの付属脚部とラックの間にインシュレーターを設置して音への変化を確認してみました。音に表現の豊かさと質感の温かみを感じ取れ、繊細さに厚みがプラスされたことがハッキリと確認できました。これは、ハイカーボン铸铁の高い制振能力による透



スピーカーシステム「WST-C60HB」の場合。磯崎様



インシュレーター「TITE-25GP」の場合。上原様



インシュレーター「PTS-G」の場合。佐伯様



インシュレーター「TITE-25MF」の場合。下川様



オーディオラック「MSR-3L-DB」の場合。関様

明度の高い音と、モールドメイブルの自然素材が持つ人間の聴感に心地良い感覚の魅力的な音が、見事に調和された結果ではないでしょうか。

オーディオラック **MSR-3L-DB**
 福岡県 関様

予想を上回るラック効果

一番の変化は中域の充実で、輪郭がハッキリ音が太く豊かになり表現力が増しました。低域も膨らみすぎることなく、それでいてしっかりとした厚みがあり歯切れの良い音になりました。そのおかげで低域・高域までのつながりがスムーズになり、自然と誇張のない音になったように感じます。試聴にはいままでも音に不満のあったCDを選びました。

例えばニュー・イングランドの「果てしなき冒険」の2009年リマスター版は、高域がキツく曲によっては耳障りに感じるものがあつたのが、ラック交換後は解像度が上がって高音域もキチンと整理され聴きやすくなりました。ほかのものでもスピード感が向上し、音が締まって迫力不足を補えるようになりました。

最後にMSR-3L-DBのダークブラウンメタリックの色合いがカタログや雑誌で見るとよりずっと美しいものであつたことを付け加えておきます。

スピーカー **SPB-300DL**
 北海道 関谷様

床の振動が低減、美しさが増した

これまでスピーカーの設置にはコンク

リートブロックをベースとして使用してました。それでもスピーカーからの振動が直接床に伝わってしまい、ケーブルやほかの機器類への影響が気になっていました。

本機に入れ替えて、まずは手で床に触れ振動のチェックをしてみました。ほとんど気にならないレベルまで改善されました。さすがにハイカーボン铸铁の制振性能は高いです。少し感じていた音の濁りがずいぶん改善されました。試聴した田部京子さんとカルミナ四重奏団のシユールベルト「まず」は全体にクリアになりダブルベースの音も一段と美しく聴こえるようになりました。

オーディオボード **SCB-RS65G**
 東京都 竹澤様

なくてはならないものになった

写真を見るとお分かりいただけと思いますが、私の使用環境はいわゆるビュアオーディオではなく、AV系ということになります。本機の試用は、効果を最大限に享受するために、上にレイヤーを直置きすることにしました。

さて肝心の音質ですが、何より低音の歯切れが良くなったことが最大のメリットです。これまでマランツのAVプリにLINNのマルチパワーAMPを組み合わせた拙宅のセットは、良くいえば美音系、悪くいえば若干パンチに欠ける感がありました。音が、面目を一新した感じ。歯切れが良くなったために、SACDマ

ルチを聴く際にも、部屋全体の混濁感が低減したのも素晴らしい効果としたいと思います。私のAVライフになくはならないものとなりそうです。

インシュレーター **TITE-25GS**
 和歌山県 中田様

高音の響きがとても良くなった
 まず使用環境ですが、リンのユニディスク1.1、LP12、アキユレイトDSを中心に、天井高5m吹き抜け20畳程度の部屋で聴いています。

1週間くらい、聴かせていただいた感想です。まず最初、ビル・エバンスのピアノの音が少し音が澄んだくらいかなという印象でしたが、シンバル、ハイハットの高音がシャーンを響くと、高音の響きがすごく良くなった印象です。しかし腰高になるのではなく、しっかりと低音も出ます。伊藤君子のボーカルで、口元の動きが、以前にも増して鮮明となり、最近、聴いた小林香織では、一聴して解像度上がり、サクスの音が鮮明になりました。一番良いのは、あまり弱点がなかったことで、すっかり馴染んでしまいました。

インシュレーター **TITE-35S**
 愛知県 橋本様

重量級のスピーカーに適合
 今年8月にスピーカーシステムをTADユニット(タテマツ音上箱入り)に変更しました。当初、木のブロックに載せて

いましたが、音がボンついて上手く鳴ってくれません。総重量が120kg以上のため耐荷重で安心できる物がなかなか見つかりませんでした。調べているうちにTAOC製品を知り、本機が1個当たり100kgまで耐えられるとのこと。今回運良く当選しました。見た目は小さいがしっかりと鍛造された、これなら重量級スピーカーもしっかりと受け止めてくれるようです。設置は、床上にクロススタイルを敷いているためインシュレーターを直接置くわけにはいかず、オーディオボード(TAOC SCBCS75D)を購入し、その上にインシュレーターをスパイク向上きで置きました。さて音出しですが、箱に入っているのはウーファーだけ。低音域だけ改善されると想像していましたが、中高音域も粒だつて聴こえ定位感、立ち上がり感が向上して聴こえま

オーディオラック **LSR-4S-MB**
 北海道 藤田様

音が充実し、SN比もよく聴こえる
 本機を見ていて、以前から性能の高さが十分伝わってくるものがありました。また、性能だけでなく「家具」という位置づけで見ても、ぜひとも購入したいと思っていた逸品でした。

早速試聴開始です。お気に入りのジャズ女性ボーカルを聴いてみました。最初に感じたのはボーカル音源が小さく

り、声の輪郭がシャープで、そこからワックと拡散する感じがします。いままでのラックでは音源が2まわり、3まわりも大きくなり、輪郭が曖昧な感じではやけていたのが改善されました。またピアノやシンバル、そして低音域であるウッドベースなど、どれもボーカルと同じように音の粒立ちが明瞭になり、音の密度感が高まり、また雑味がなく、どうしてこんなに変わるのか不思議です。

スピーカー **SPB-300DH**
 栃木県 平山様

低音のカタマリ感が圧倒的
 スピーカーはJBL 4318で、とりあえず何も考えずにスタンドのみを交換してみました。スタンドとSPの間にはオーディオテクニカのメタルベースAT682を配置。音を出し圧倒的に違う点は「重心が下がった」ということです。先ほどまで使用していた木製に比べベースとドラムの位置が近くなりまりました。低域のカタマリ感が圧倒的に上がりました。

木製スタンドではボヤけた感じとかタブつく感じがあつたのですが、TAOCに変えたらドラムのキックの音が弾けるようになり、宇多田ヒカルでは明らかにボーカルのフォノカスが向上し、渡辺香津美ではボナナのベース音が実にForderらしい音で聴けました。全体的に4318をカッツリ鳴らす方向

で、個人的には好ましいです。

インシュレーター **TITE-25GP**
 愛知県 丸田様

管球アンプの音に差が出た
 いままで使った他社製品と比べて、音のひとつひとつに濁りがなく生きてきます。また、音の広がりが感もより勝つてい下です。いままでもものは1万円以下ですが、お金を掛ける価値は十分にあると断言できます。

聴いた音楽のジャンルの中で音の違いを強く感じたのは、ギターの音です。特に村治佳織やゴンチチのギターの弦の擦れる音などでその違いを実感しました。JAZZ系ではボーカルが他社の製品よりも温かみが出るように感じました。手持ちの機器で違いを感じたのはアンプに管球のパワーアンプを使った時です。トランジスタのアンプよりも管球式のアンプの方が、音に温かみが出るように感じます。

インシュレーター **SCB-CS35D**
 三重県 光本様

温かみのある活き活きとした音に
 30代後半、電気メーターでエンジンリアをしています。好きな音楽のジャンルはロック、女性ボーカルのジャズ。クラシ

ックも少々聴きます。スピーカーはエラックFS247。狭いリビングにしかオーディオセットを設置する場所がなく、スピーカーはTV横の絨毯の上に不安定に設置してあり、指で押すと簡単に動くようなありさまです。そのせいか、どうも低音域の音が膨らんでフワフワするような感じがありましたので、早速スピーカーの下にTAOCオーディオボードを設置してみました。うんうん、重量のおかげでしよう、絨毯の上でもスピーカーを指で押してもまったく動かなくなりました。これは期待できそうです。

オーディオボード **SCB-CS35D**
 東京都 三好様

ぐらつきが収まり音質向上
 マッキントッシュMC252用に本製品を期待してました。設置は、スパイクを上に向け受け皿を乗せて、パワーアンプを設置しました。上下左右から力を加えても全くグラつかず、期待以上効果でした。具体的には、S/Nが良くなり聴感上の音質が増え、高音も低音もしっかりと出るようになった、響きが高さ方向に広がったというものです。毎回新たな発見と感動を堪能させてもらっています。

347